

設置完了後、確認する

☐ 確認項目	
☐ 包装材料の取り外し	●部品止めテープ(グリル・グリル皿ホルダー・本体操作部・排気パネル)・グリル庫内包装材など
☐ 同梱部品などの取り付け	●排気パネル・防水カバー・サイドカバー・スイッチカバー・操作部カバー・吸気口カバー・グリル(グリル皿・扉)
☐ 外 観	●本体が前後左右に傾いていないこと ●トッププレートの左右に傾き・隙間がないこと ●フレームが浮いていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出していないこと ●トッププレートが汚れていないこと ●操作部カバー・スイッチカバーが浮いていないこと
☐ 電気工事	●電源電圧が単相200Vであることを確認する ※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときに「H20」を表示します。 ●アースが接続されていること ●漏電遮断器が設置されていること
☐ 作 動	1 電源スイッチを入れる 2 各ヒーターの作動を確認する ●左IHヒーター： →  ●右IHヒーター： →  ●後ろIHヒーター： →  (またはラジエントヒーター) ●グリル： →  3 レンジフードとの「連動／非連動」を確認する ●連動：・各ヒーターの操作ボタンを「入」にする。 ・すべてのヒーターの操作ボタンを「切」にする。 ●非連動：下記の方法で「非連動」に設定し、いずれかのヒーターを入れる。  を約3秒間押し  を表示させる ※「連動」になっているのに、レンジフードが作動しない場合 赤外線コードを切り換えて確認してください。(P.11) →それでも連動しない場合は、お買い求め先または修理ご相談窓口(取扱説明書で参照)にご相談ください。
■電気試験後は	●必ず、各ヒーターと電源スイッチを「切」にしてください。 ●取扱説明書・設置説明書・レシピ集(もっとIH! おうちメニューが増える本)・保証書は、必ずお客様にお渡しください。
設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。	
設置完了確認者印	

パナソニック株式会社 キッチンアプライアンス事業部

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2015

ZY16-D681
S0415M1095

Panasonic®

設置説明書

IH クッキングヒーター

<赤外線式換気連動対応>

	トッププレート幅 75cm	トッププレート幅 60cm
品番	KZ-V773S KZ-V573S KZ-V373S KZ-V173S KZ-PV773S KZ-PV573S	KZ-V763S KZ-V563S KZ-V363S KZ-V163S KZ-PV763S KZ-PV563S

もくじ

安全上のご注意	2ページ
設置場所	3
外形寸法／同梱部品の確認	4
電気工事をする	5
本体の設置	6
設置完了後、確認する	裏表紙

- 設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。
特に「安全上のご注意」は、設置前に必ずお読みください。
- ガス機器から付け替える場合
ガス事業者に連絡しないでガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは法令により規制されています。
事前にガス事業者へ連絡してください。また閉栓はガス事業者に依頼してください。
- 排気接続のビルトイン電気オープンレンジを設置する場合は、必ず電気オープンレンジの設置についての説明書に従ってください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- 本機は約30Aを消費するため、平均的なご家庭の場合で、総電気容量を約60A以上にすることをおすすめします。
60A未満の場合は、総電気容量を増やすか、本機の総消費電力を4,800Wに切り換えることをおすすめします。

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

!

警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

!

注意「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⊘

してはいけない内容です。

!

実行しなければならない内容です。

!

警告

- !

- 電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う（接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因）
 - 200V・30A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する（この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因）
 - アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う
 - アースを確実に取り付ける（漏電すると、感電の原因）
- ⊘

- 絶対に分解・修理・改造は行わない（火災・感電・けがの原因）
 - ・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど。
 - トッププレートに強い衝撃を加えない

・上に乗ったり、工具・鍋などを落としたりしない

・コーナー部を強い力で押さえない

（万一ひびが入ったり割れたりすると、感電や過熱・異常動作の原因）
 - 試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない（やけどの原因）

!

注意

- !

ワークトップは、耐熱材料を使う

熱硬化性樹脂化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の物

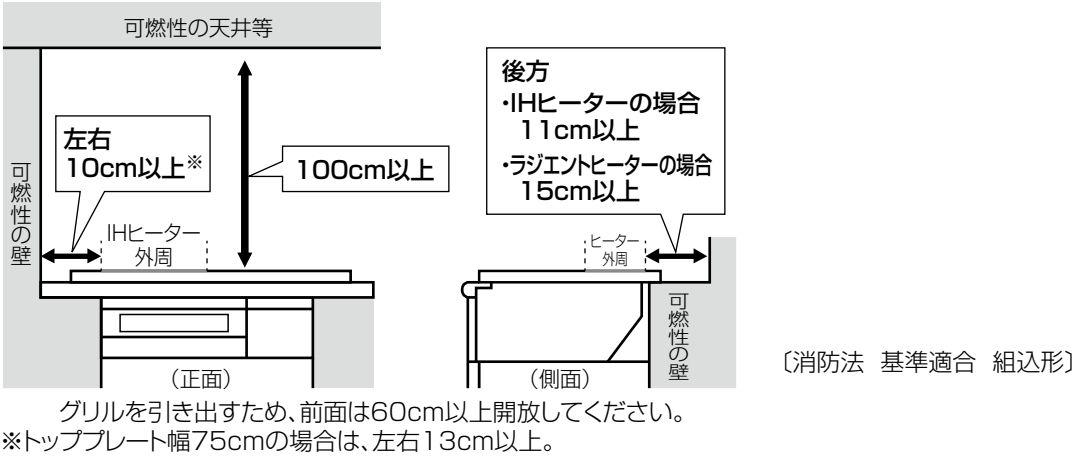
（耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因）
※ニス引きのものは変色するため使わない。

設置場所

壁からの距離

火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

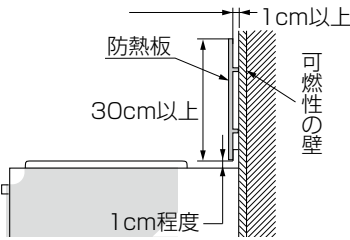
■可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合



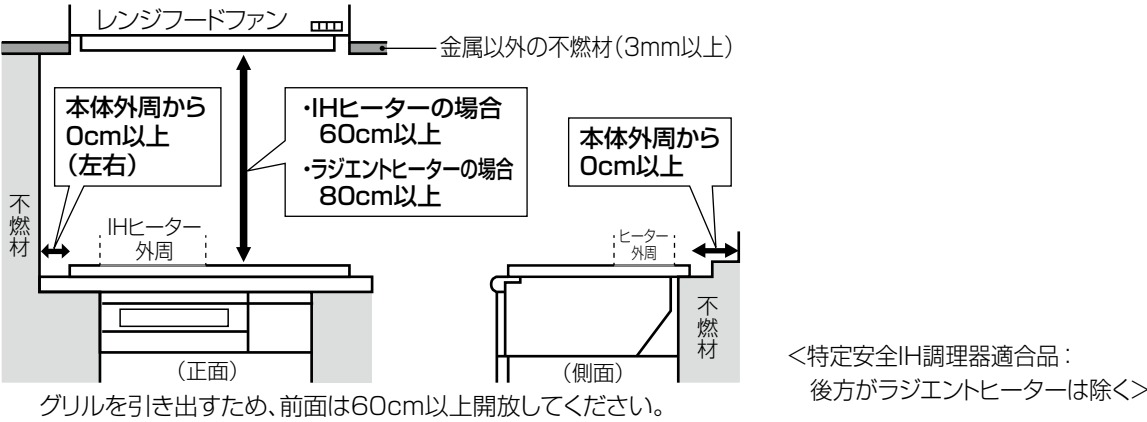
■上記の距離を離せない場合

防熱板を取り付ける

- 背面に取り付ける場合は、後ろIHヒーター（またはラジエントヒーター）を中心に、左右の位置をそろえてください。
- 本体の側面に取り付ける場合も、右図と同じ距離を設けてください。



■レンジフードおよび不燃材の場合

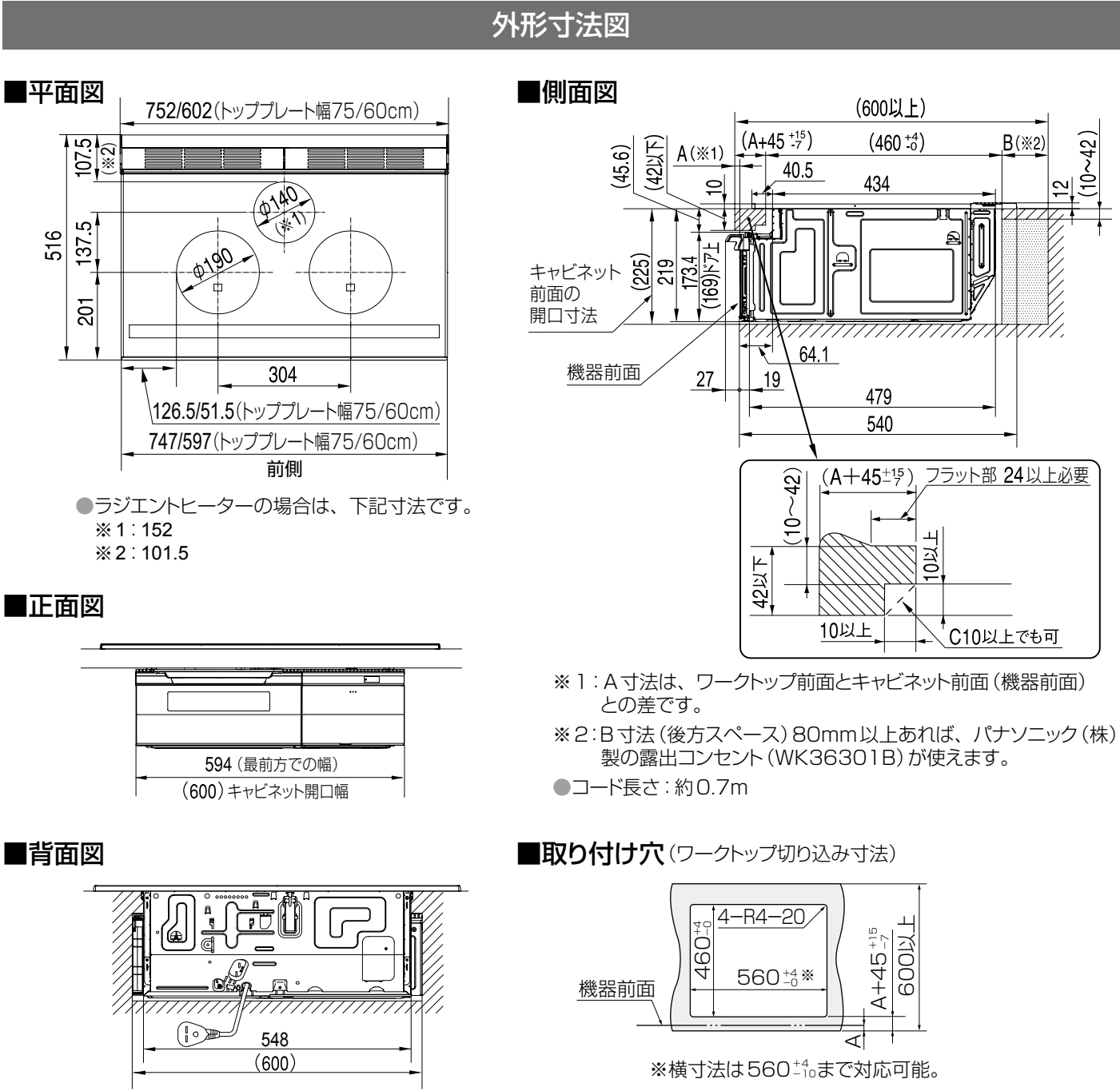


※レンジフードの設置すれ（左右・前後）が大きいと、換気連動が働かない場合があります。

お願い

- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）に接触しないようにしてください。（電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています）

外形寸法／同梱部品の確認



同梱部品					
※必ず設置前にご確認ください					
グリル皿：1個	扉：1個	サイドカバー：各1個 (左) (右)	操作部カバー：1個	吸気口カバー：1個 (高さ10mm)	排気パネル：2枚
			スイッチカバー：1個	※本体とワークトップの隙間が大きいときは高さ24mmのタイプをあっせんしています。(P.11)	

電気工事をする

専用回路の設置

●ブレーカー付き単相200V・30Aの専用回路

●三相200V (動力電源) は使わない (故障の原因)

●屋内配線用電線

単線直径2.6mm以上または、より線5.5mm²以上

※ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合はそれに従ってください。

●推奨漏電遮断器<パナソニック(株)製>

品番	BJS3022N (HBモジュール) または BSHE23022 (コンパクトタイプ)		
定格電流	30A	感度電流	15mA

※上記以外では、IHクッキングヒーターに適さないものがあります。

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。(コンセントの一極接地用に配線してください。)

●コンセントの種類・位置

●推奨コンセント<パナソニック(株)製>

定 格	IHクッキングヒーター 200Vコンセント	電気オープンレンジ	
		100Vコンセント	200Vコンセント
品 番	(埋込型) WF3630B または (露出型) WK36301B	(埋込型) WN1031	(埋込型) WN1932 または (露出型) WKS294

●コンセントの取り付け位置

キッチン 高さ	IHクッキング ヒーター コンセント ①寸法	電気オープンレンジ コンセント ②寸法
850mm	700±15mm	商品によって異なります。 詳細は電気オープンレンジの設置 についての説明書をご覧ください。
800mm	650±15mm	

※据置用枠を使う場合は、据置用枠に添付の説明書をご覧ください。

●仕切り板より下にコンセントを設置する場合
(仕切り板のあるキャビネット)

ホールソーなどを使い、φ60mm以上φ100mm以下の穴を開ける。
※穴を塞ぐときは、シーリングプレート(あっせん品)を貼り付けてください。

●シーリングプレート
品番: KZ-042 (外径約140mm、内径約30mm)

「お買い求め先」にお問い合わせください。

※詳細はシーリングプレートに添付の説明書をご覧ください。

お願い

●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。

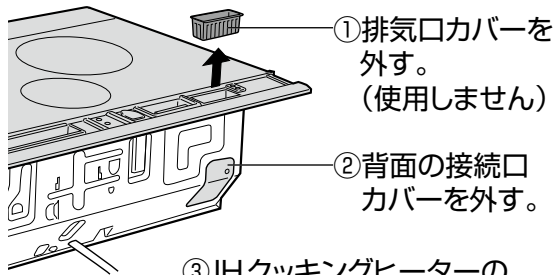
●コンセントは必ず固定してください。(接続・固定が不完全な場合、漏電、火災の原因になります。)

本体の設置

①電源プラグを差し込み、本体をはめ込む

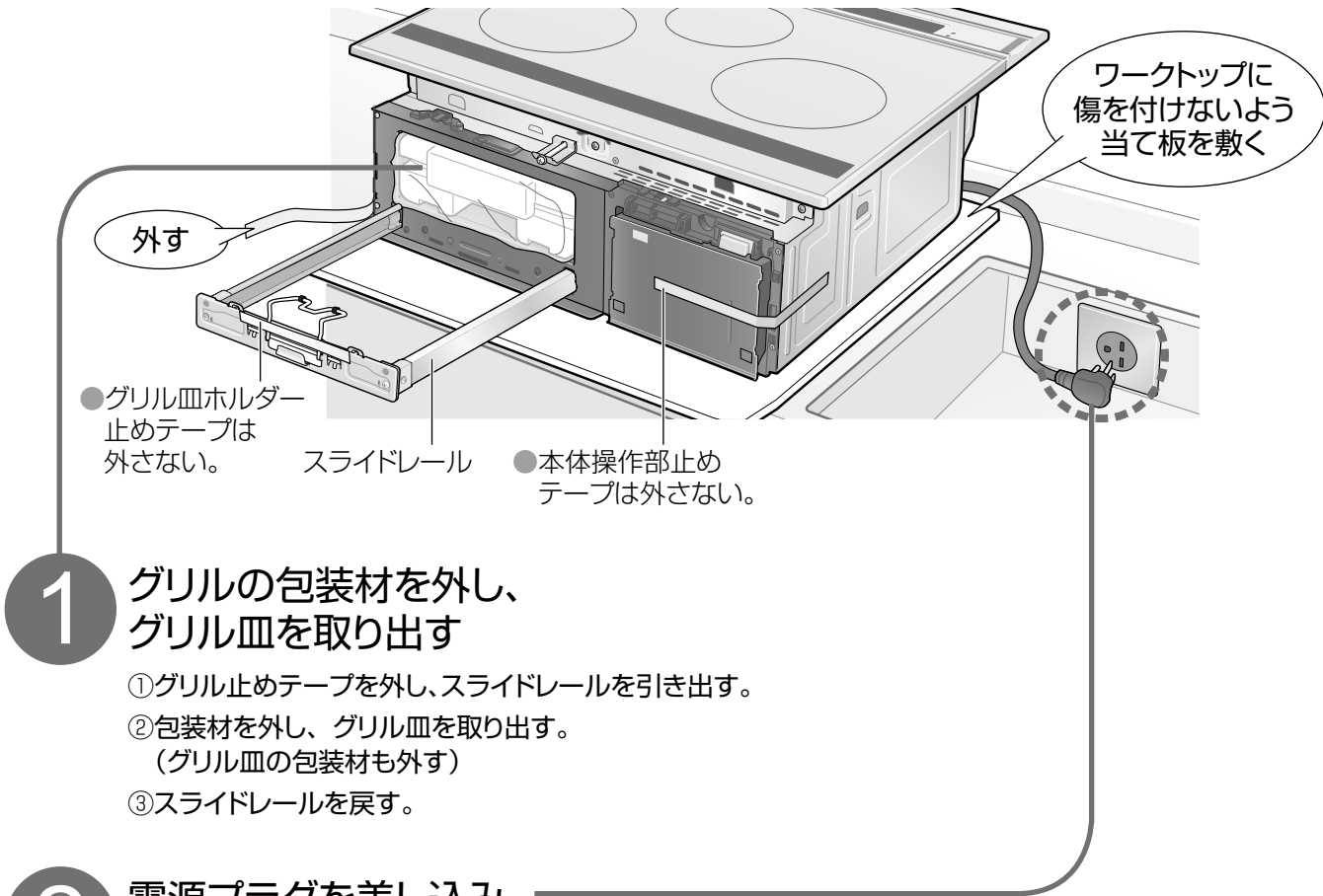
排気接続の電気オープンレンジを設置する場合

- IHクッキングヒーターに、電気オープンレンジ付属の「排気筒」を接続する作業が必要です。



※IHクッキングヒーターと電気オープンレンジの前面の位置をそろえてください。

※詳細は電気オープンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

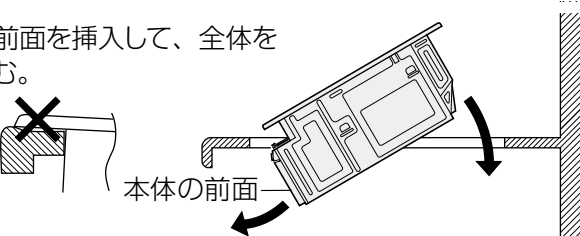


1 グリルの包装材を外し、グリル皿を取り出す

- ①グリル止めテープを外し、スライドレールを引き出す。
- ②包装材を外し、グリル皿を取り出す。
(グリル皿の包装材も外す)
- ③スライドレールを戻す。

2 電源プラグを差し込み、ワークトップに本体をはめ込む

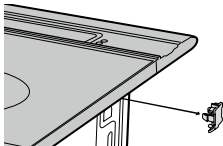
- 本体の前面を挿入して、全体をはめ込む。



※膨らみに乗り上げないように、フラット部にセットする。

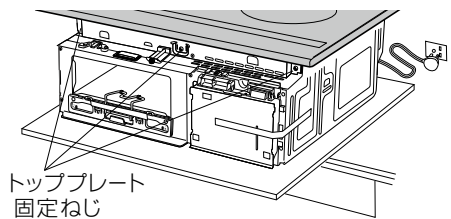
- 前面をワークトップに当てたり、グリル皿ホルダーが引っ掛からないように注意する。
(スイッチが破損したり、グリル皿ホルダーが変形する原因)
- 本体底面とキャビネットの間に、電源コードを挟まない。
(本体が浮き、隙間がばらつく原因)
- フレーム下面とワークトップの隙間が、ほぼ均一かどうかを確認する。
※均一でない場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。

■取り付け穴横寸法が550mmのとき



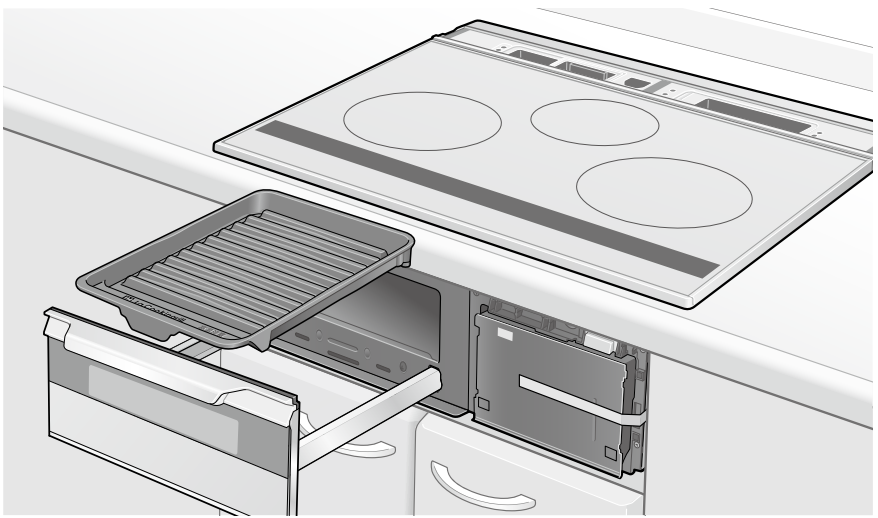
- スペーサー(左右2か所)をラジオペンチ等で外す。

■トッププレート固定ねじの締め直し方

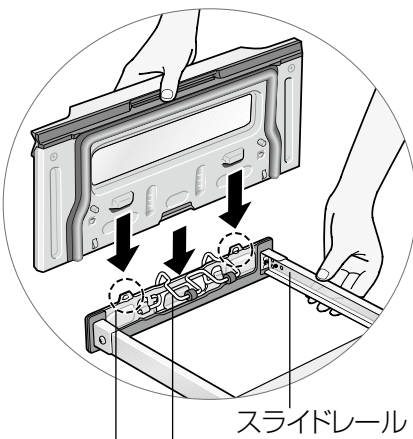


- ①本体を取り出し、トッププレート固定ねじを緩める。
- ②トッププレート手前の中央を強く押しながら、中央のねじを締め直す。
(続けて左右も締め直す)
- ③再度ワークトップに本体をはめ込み、隙間がほぼ均一であることを確認する。

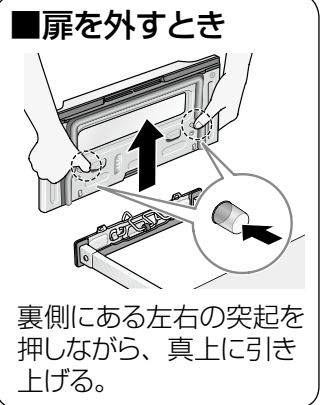
②グリルの扉を取り付ける



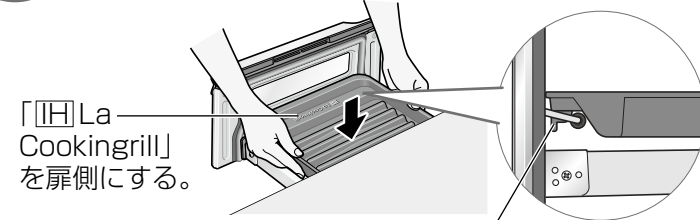
1 グリル皿ホルダーの止めテープを外し扉を取り付ける



- ①グリル皿ホルダーを起こして
- ②グリル扉取り付けツメを、3か所同時に「カチッ」と音がするまで差し込む。(中央のツメはスライドレールの外側にあります)



2 グリル皿をスライドレールに載せる



- グリル皿のツバ部をグリル皿ホルダーに落とし込む。

3 扉を閉める

本体の設置

③ サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

2 サイドカバー(左右)を取り付ける

サイドカバー(左)のリブを溝に合わせ、外側に回すように差し込む。
(2か所のツメが本体側面の穴にはまる)
※無理にまっすぐ押し込むと、ツメが割れる原因

●キャビネットの側面に乗り上げていないことを確認する。

1 本体操作部の止めテープを外す

突起 溝

サイドカバー(右)の溝を突起に合わせ、全体をまっすぐ押し込む。

■サイドカバー(左)を外すとき

●内側に回すような感じで引っ張る。

3 本体の位置を調整する

- ①キャビネットと本体左右の隙間を均一にする
- ②キャビネットの扉面に本体前面を合わせる
※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。
はみ出した場合は、本体を少し持ち上げて、薄いヘラ状のもので軽く押し込む。
- ③調整後は、いったん扉を外す (P.7)
(前固定金具を締め、吸気口カバーを付けるため)

④ 固定する

1 防水カバーを外し 後固定金具を固定する

●防水カバーを取り付ける。
※傷付きに注意してください。

2 前固定金具を固定する

- ①ねじを緩めて、前固定金具を緩める
- ②前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する

●ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
※先の長い(約70mm以上)ドライバーをお使いください。

●固定後は、次のことを確認する。

- ・フレームを押して動かないこと
- ・トッププレートの左右で傾き・隙間がないこと

※傾いている場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。(P.7)

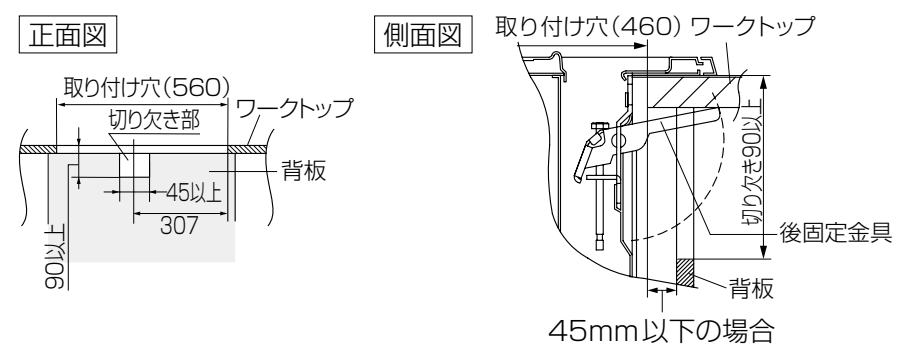
防水カバー

ねじを確実に締め付ける。
(後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定される。)

後固定金具

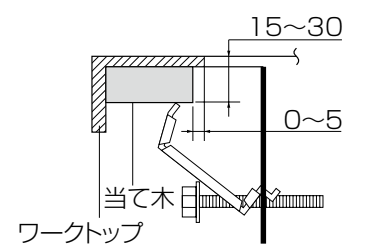
■ワークトップの後方に背板がある場合

背板位置がワークトップの取り付け穴から45mm以下の場合、後固定金具が通るように切り欠きを設ける。



■ワークトップの厚みが薄い場合

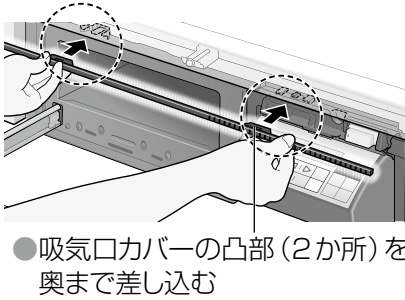
当て木を添える。



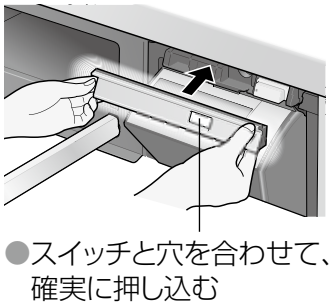
本体の設置

⑤ 吸気口カバー・スイッチカバー・操作部カバーを取り付ける

1 吸気口カバーを取り付ける



2 スイッチカバーを取り付ける



3 操作部カバーを取り付ける

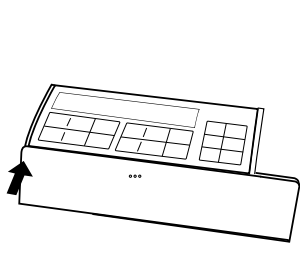
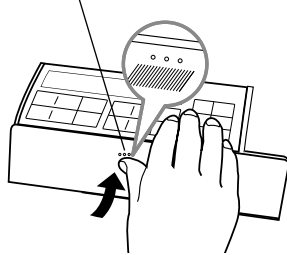
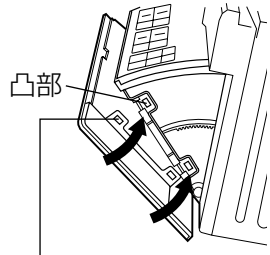
● 右側→中央→左側の順に取り付ける。

① 右側を取り付ける

② 中央を押す

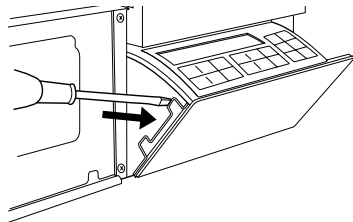
③ 左側を押し込む

④ 中央が浮いていないか確認する



■ 取り外し方

- ① グリル扉を外す
- ② 操作部を開き
- ③ ③ドライバーでねじのように左側のツメを外す (2か所)



⑥ 扉・排気パネルを取り付ける

- グリルに扉を再セットし、閉める
- 排気パネルを取り付ける

赤外線コード・消費電力の切り換えが必要なとき

■ 赤外線コードの切り換え

出荷時はコード「2」に設定しています。

- 0 : 家製協フォーマット36.7kHz (旧松下精工レンジフード)
- 2 : 家製協フォーマット36.7kHz (パナソニックレンジフード)
- 14 : NEC フォーマット38kHz (その他のレンジフード)

● 設置完了後の作動確認③で、レンジフードが作動しない場合は、コードを切り換えて再度確認してください。



電源スイッチを入れ

① 2つのボタンを約3秒間同時に押す (2を表示)

② < | > でコードを切り換える (0 ⇄ 2 ⇄ 14) → 表示されたコードで信号を送信する。

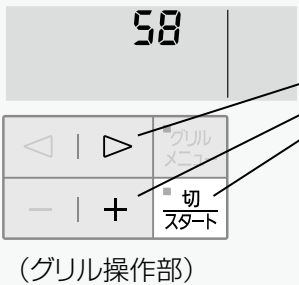
レンジフードが作動したコードで

③ 2つのボタンを同時に押す (切り換え完了)

■ 総消費電力の切り換え (4,800W/5,800W)

出荷時は5,800Wに設定しています。

● 必ず契約容量ブレーカー (契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー) をご確認ください。総電気容量が60A未満の場合は、総消費電力を4,800Wに切り換えることをおすすめします。



① 3つのボタンを同時に押ししたまま電源スイッチを押す

② 電源ランプが点灯したら、電源スイッチの指を離す (58 または 48 を表示) ※3つのボタンは離さない

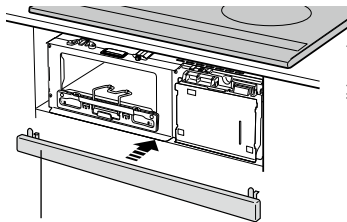
③ < | > で切り換える (58 ⇄ 48)

④ 電源スイッチを切る (切り換え完了)

あっせん品 (前パネル・吸気口カバー) について

■ キャビネット前面の開口寸法が、標準 (225mm) より大きい場合 前パネルを取り付ける。

開口寸法	前パネル (シルバー) 品番	前パネル (ブラック) 品番
245mm	AD-KZ043S-25	AD-KZ043-25
270mm	AD-KZ043S-50	AD-KZ043-50
300mm	AD-KZ043S-80	AD-KZ043-80



前パネル
※ 取り付け方は、前パネルに添付の説明書をご覧ください。

■ 本体とワークトップの隙間が大きい場合

高さ24mmの吸気口カバーを取り付ける。

● 品番 : AD-KZ045C

<お問い合わせ先>

パナソニックホームエンジニアリング株式会社
システム部材開発センター (06) 6942-6202

(2015年4月現在)